

第30号

★発行所：太田市 PTA 連合会  
 ★発行責任者：黒田 篤史  
 ★編集担当：太田市 P 連南ブロック  
 沢野小学校 PTA、南小学校 PTA  
 沢野中央小学校 PTA、尾島小学校 PTA  
 世良田小学校 PTA、南中学校 PTA  
 尾島中学校 PTA、太田中学校 PTA  
 ★印刷所：株式会社アド・レーベン

# 市P連おおた

題字：太田市P連会長 黒田 篤史



**新任 あいさつ**  
 太田市 PTA 連合会会長  
 太田市立木崎小学校 PTA 会長  
**黒田 篤史**

皆様はじめまして、書面開催ではありますが令和三年度太田市 PTA 連合会定期総会において令和三年度本部役員選出を承認いただき、会長を仰せつかりました、太田市立木崎小学校所属、黒田篤史と申します。木崎小学校のほうでは、令和二年度は副会長・今年度令和三年度は会長を務めておりますが、他の小学校・中学校と同様に行事など開催出来ず、前年同様感じています。人前で挨拶など

をする経験がなく、このような役に不慣れなもので、太田市 PTA 連合会本部役員の皆様に迷惑をかけながら、協力していただき会議などを開催しております。さて、今年度の太田市 PTA 連合会活動テーマは『心温かな希望ある未来へ』とあり、これに出来ることを大切にしたいと思っております。コロナウイルスが蔓延し、今まであたりまえに出来ていたことがあたりまえに出来なくなり、私たちが

の生活も変わってきました。人と人とのコミュニケーションが取りづらくなり、活の中でも、出来ることを見直し、子ども達が友人・他者の誰にでも人を思いやる気持ちを大切にしたいと思っております。思いこの活動テーマを考えました。

皆様におかれましては、日々の日常の中で感染対策や行動の自粛している場面やストレスを抱えていると思っております。そういった中でも子ども達の成長を見守り、出来ることを見つけて毎日を送っていかねば行けません。太田市 PTA 連合会としても活動制限はございますが、感染対策を第一に考えられるだけ活動は行いたいと思っております。

安心な日常が戻り、行事など出来るようになり、役員一同 PTA 活動にさらに取り組んでまいりますので、皆様のご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和三年度母親委員長を務めさせていただきます、藪塚本町中学校荒木美枝子と申します。私は、過去に母親委員を務め、他校の方との交流や母親委員の活動が、楽しかった、勉強になったと感じておりましたが、再度このような貴重な場に、関わることができ、感謝しております。しかしながら、このような大役は初めてのことで、不安もありますが、みなさまと楽しく活動が出来ればと思っております。

母親委員会は、望ましい母親像を追求し、家庭教育の向上を図るために設立され、太田市内の小・中・義務教育学校の PTA 会員及び未曽有の今、子どもたちは学校での行事中止や、様々な制限の中でのストレスは図りしれません。私たち保護者の日常も同じで、家庭内のことなどで



**育もう元氣なこころ 深めよう親子の絆**  
 笑顔あふれる未来のために  
 太田市 PTA 連合会母親委員長 荒木 美枝子



**感動、感激、感謝**  
 太田市教育委員会教育長 恩田 由之



三つの言葉に出会いました。一つ目は「感動」。「生きづらさ、そう思ったことはないか？」この言葉は、過日、少年の主張太田市大会で耳にした中学生の言葉です。舞台上上がる前「チャンス、チャレンジ、チャレンジ」という言葉をエールとして送りました。多くのテーマは、「言葉」積み重ね「選べる世界」「生きやすい世界」「飢餓を救う」「国を越えて」「個性」「比べる」「言葉の重要性」「本物」「ジェンダー平等」「リーダー」「睡眠」「差別と偏見をなくすために」「過去・現在・未来」「夢と共に生きていく」「食への感謝」「煙草」。それぞれ甲乙つけがたく、その発表を基に、自らの心で動き、挑戦していました。「世界の十三人に一人、LGBT。世界に性別の壁はない。温かい気持ちになった。「障害のある自分の兄弟をかわいそうだと思った

とは一度もない。「説得力ある主張は、多くの生徒や先生の心を動かす、その「感動」を校長会や副校長・教頭会で紹介しました。二つ目は「感激」。「太田市小学生チーム群馬県優勝」という見出しを目にし、「厳しい中での優勝に」「感激」しました。その学童野球チームがあいさつにきてくれ、「苦勞はありましたか？」と聞く、異口同音に「家族の応援と家でのたゆまない練習と答えていたのが印象的でした。

もう一つは、市中体連夏の大会で。昨夏はコロナの影響で中止、今年は多くの保護者の皆様の協力で感染対策をして実施できました。応援人数を制限、声をセーブ、会場を分散させて戦っていた姿には「感激」しました。「昨大会ができたかった先輩の分まで」という思いが伝わってきました。暑さと疲労で足がつかなくても

ブレを続ける選手、勝った歓喜の涙、敗れて流す悔し涙、全力を尽くし倒れこむ選手、大会があつたからこそ、自分を追い込める成長の場がありました。陸上では、三年生が肉離れで欠場し、代わりに後輩がアンカーを走り切りました。先輩から後輩へバトンは間違いなく渡されていきました。

最後に三つ目は、「感謝」。校長先生方によくお願いするのは、「特色ある学校」「地域に根差した学校」「学校のスリム化」です。学校の使命は、①情報発信②閉鎖性の改善③地域を活性化し、感化されること。学校は、家庭や地域の教育力とともにあります。「外に開かれた学校」があると同時に「内に開かれた教員同士の感化」が必要で、四月に北の杜学園義務教育学校が開校しました。九年間のスパンで義務教育を展開するのを見守っていただきたい。他の小中学校も課題を共有し、

以上三つの「感動」「感激」「感謝」に出会えたことは、太田市小中全校をオールワンの健全育成に向かつて成長させてくれた証です。最後に子どもたちや保護者の方々に支えていただいている太田市 PTA 連合会の方々に改めて感謝申し上げます。

太田市 PTA 連合会から会長、副会長が参加し活動しています。このコロナ禍でも、工夫を凝らし昨年度活動が出来ていたのは委員のみならず、さまや関係各位のご理解とご協力があったことと感謝いたします。その意思を受け継ぎ、今年度の母親委員のテーマを『育もう元氣なこころ深めよう親子の絆』とさせていただきます。五回のセミナーを計画いたしました。未曽有の今、子どもたちは学校での行事中止や、様々な制限の中でのストレスは図りしれません。私たち保護者の日常も同じで、家庭内のことなどで



## 第35回 広報紙コンクール 受賞

藪塚本町小学校 PTA 新聞「たけのこ」が優秀賞に、太田中学校 PTA 新聞「友愛 いちた君 PTA 新聞」が奨励賞に輝きました。おめでとうございます。優秀賞を受賞された藪塚本町小学校 PTA 新聞は、全国広報紙コンクールに応募されます。



**毎月第1日曜日は おおた家庭の日**  
 家族みんなで語り合い、楽しみあい、協力しあって家庭のきずなを深め、あたたかい家庭を育みましょう

# 学校のおおた子どもたちの学び 紹介

～尾島小学校・世良田小学校・沢野中央小学校・南中学校をご紹介～

## 太田市立世良田小学校

148年目

本校は、太田市の南西部に位置し、明治6年10月27日に長楽寺本堂をお借りして設立されました。設立から今年で148年目を迎えました。

児童数は、9学級で147名です。

本校の近くには、長楽寺や世良田東照宮、八坂神社があり、地元の歴史を日々感じられる環境にあります。

また例年は、学校の授業の時間を割いて、世良田祇園まつりの実行委員会の方々が児童に世良田小唄を教え、お祭りに参加しています。

昨年に続き、まつりは中止となってしまいましたが、今年は授業の時間を頂いて、実行委員のメンバーが、世良田祇園まつりの歴史や世良田小唄の歌と踊りの伝承について、児童の前で説明を行いました。



世良田東照宮

児童数は少ないですが、歴史ある風土と活気ある地区役員の方々に育まれながら、子どもたちは日々多くの経験を積んでいます。

コロナウイルス感染症の影響で、昨年から学校行事等の中止が続いていますが、ワクチン接種が進むことで、子どもたちが自由に活動できる日が戻ってくれることを願っています。

### ～世良田祇園まつり～

「祇園まつり」は武門の神である「八坂神社」のお祭りとして発祥し、江戸時代に無病息災、家内安全、商売繁盛を願って民衆主体のお祭りとして現在まで継続されてきました。

東京神田の「明神祭り」、埼玉県秩父市の「妙見祭り」と並び天下に鳴り響き、また、昔から「沼田祇園祭」、「大間々祇園祭」と共に、上州三大祇園祭と称されています。

発祥時期は定かではありませんが、1565年頃(戦国時代)おおよそ450年前から行われていた記録があります。

### ～世良田小唄～

鐘は鐘持か 普門の寺か チョイトネ  
月もおぼろな 良田の山よ  
昔たずねりや チョイトまかせ  
エーあの反橋を(チョイトネ)  
濡らす桜の ヨイシヨ  
桜の花の雨  
サッサ踊ろよ ステレコジャンジャン  
世良田名所 世良田名所 花どころ

## 太田市立尾島小学校

147年目

明治5年学制令の発布により、尾島各地に小学校が設置されました。明治7年本校の前身となる惟勤館と知新館が開校します。これが尾島小学校の始まりです。「惟勤」には、よく考



えることに努めること。「知新」には、新しい知識を身に付け、自分の考えを持つこと、という意味があります。尾島小学校開校にあたり、この二つの思いが校名に込められていると思われます。昭和8年に北原白秋氏作詞の校歌が制定されました。昭和26年尾島町立尾島小学校と改称され、平成16年の合併により現在の太田市立尾島小学校へ改名し現在に至っています。校庭



には一本のプラタナスの木。花言葉は「天才、好奇心」が大空めざして一直線に伸びています。

本校のめざす児童像は、自分の「やりたい、成りたい」を持つ子、実現に向けて「行動」する子です。PTAとしましては、子どもたちが目標や目的に対して自らアクションを起こせる環境づくりに尽力してまいります。

## 太田市立南中学校

74年目

南中学校は市内随一の生徒数を誇る中学校です。外国籍の生徒も多く、義務教育のうちから様々な友人と出会い、国際理解を深める経験をし、多様性を学べる恵まれた環境にあります。



学校と保護者と地域の三者の連携を目指して、歴史ある南中学校を側面から支えるのがPTAと地域の皆様です。コロナ禍においてPTA行事は中止縮小せざるを得ない中、それでも生徒達の役に立ちたいと先日PTA本部と『図南の会』で生垣の剪定を行いました。『図南の会』は歴代の校長先生とPTA会長による組織で、南中学校を離れてもなお生徒達を温かく支援して下さる有志の会です。当日は生徒・PTA本部・『図南の会』の三者で活動し新たな歴史が紡がれました。また、地域の皆様からは自転車通学の生徒達の安全の見守りや健やかで明るい心身であるための支援が常に届けられており、生徒達も元気な挨拶で感謝の気持ちを伝えています。



校歌にあるように、生徒一人一人が自らの『図南の翼』を大きく広げ七色の夢に向かえるよう、今後も学校・保護者・地域が手を取り合って進んでいきたいと思っております。

## 太田市立沢野中央小学校

18年目

本校は太田市の南に位置し、今年創立18年目の新しい学校です。現在は児童数389名の小規模校です。



本校では学校支援隊の活動として、地域の方々が講師となり、土曜スクールを開催しています。土曜スクールの講座は、バレーボール・テニス・茶道・パソコン・昔遊び・書講座・音を楽しむの七講座を開催しています。どの講座も先生方から丁寧なご指導をいただき、子ども達も楽しく参加しています。

PTA会員の交流を深める活動として、毎年5月に『親睦ソフトバレーボール大会』を開催しています。各学年ごとに有志での参加を募り、学年対抗試合を行っています。試合開始時はぎこちない様子ですが、次第にプレーや応援に熱を帯び、白熱した試合が展開されます。昨年度よりPTA活動は中止しているものがほとんどですが、感染状況が落ち着き、PTA活動が再開された際には、子ども達の元気な声をききながら、楽しく活動できるのを楽しみにしています。

